

## 質問者



植田 喜晴 議員

**問** 民意は合併の必要なし

伊予市、双海町、中山町とすすめている合併の協議は、町民の意志を反映しておらず、国・県のいいなり、つまり合併ありきです。

それは、私が実施したアンケートで、合併は「必要」が5・5%、「必要ない」が83%で、懇談会の時と今では町民の意識や認識は変わっている。町長は最近の民意をどう感じているか。改めて民意を聞く必要があるが町長の見解を聞かせてください。

**答** 住民説明会での意見を反映

答弁 白石町長

任意協議会設立後も各地域での会合において、協議会の動きを説明し、また質問を受

けるなど関心の高まりを感じると同時に、合併について理解・認識は高まっていると思えます。

合併協議会において新市将来構想が確認されたので、その概要版を全戸配布するともに住民説明会を開催することにしており、こうした機会に得られた住民の皆さんのご意見をさらに反映させながら、合併協議をすすめて参ります。

**問** 公正で的確な情報提供を

私のアンケートで、町の情報提供が「不十分である」が91%もあり、住民には公正で的確な情報の提供がなされていないことを示している。伊予地区合併協議会が住民説明会の資料とする新市将来構想の「概要版」は、合併による経費の削減効果や財政支援措置で合併の効果強調している。ところが合併13年目から合併した方が歳入が少なくなること。松前町民は1人あたりの財政負担が重くなることなど、財政については一切触

れず町民は目隠しをされ、公正で的確な資料となっていない。財政の資料を載せるよう求める。



**答** 公正・適切な情報提供に努める

答弁 白石町長

合併協議の進捗状況に合わせ、市町村合併特集号を、5集まで作成し全戸配布していきます。今後とも公正で適切な情報提供に努めていきます。財政における合併効果は一つの時点のみの状況を見るのではなく、合併後の累積によって判断するべきで、合併後10年間の財政効果は120億円を上回るくらいと予想されており、合併効果は十分発揮されると思います。

**問** 住民自治の要点は住民投票

アンケートで、住民投票を望む声が87%あった。合併は住民生活のすべてに影響し、住民自治機関の松前町の歴史を閉じることが問われる重要事項です。合併するしないは住民投票で決めることです。これは、地方自治・民主主義の原則であり、代表民主制の否定や議会軽視ではなく、むしろ議会の代表民主制を補完し、より高度な機能を発揮させます。町民は投票の結果を尊重し、結果責任を街づくりを果たし、その上、「自分たちの街は自分たちで」という住民自治の気風が高まり、住民主体の街づくりの第一歩となります。

住民投票をせず、町民に多くの疑問や不安を残して合併が決められたなら、形は一つの自治体でも町民の気持ちは一つとなり得ません。

合併の是非が判断できる公正な資料を示し町民間での議論を醸成し、結果を尊重した決定を図る

ことです。改めて見解を求めます。

**答** 実施は考えていない

答弁 白石町長

今後とも将来構想の説明会などを通して住民から得られたご意見、協議会における協議経過などをともに、住民の代表である町議会と連携を密にしながら慎重に検討していく考えで、現時点で住民投票の実施は考えていません。私自身住民の皆様の中に積極的に入っている、住民の皆さんが合併に対してどういうお考えであるのか十分酌み取るよう努力して参ります。

